

No. 56	昭和 62年 6月 20日 発行
ねじればね	発行：日本甲虫学会 〒658 神戸市東灘区御影山手2丁目19-8 大倉正文 方
	電話：(078) 811局 2706 番 郵便振替口座 大阪 9-39672 番
June, 1987	

書 評

農学博士小島圭三・農学博士中村慎吾編著「日本産カミキリムシ食樹総目録」昭和61年12月1日比婆科学教育振興会発行、B5版、2カラープレート+ii+336頁、上質紙、クロス製本、カバー付。4,000円。

著しい森林害虫を含む天牛科甲虫の幼虫の食樹(食草を含む)について、日本産の種の明治以来昭和60年までの文献に現われたものをほぼ完全に網羅集録し、更に成虫の後食する植物名をも併せてあって、現在の時点におけるカミキリムシの食樹に関する最も重要かつ信頼のおける文献として、関係者の座右に必ず一本を備えるべきものと信じる。著者らは日本における天牛類の未成熟期の形態・分類・系統学・生態学の分野の第一人者であって、その長年の野外観察と研究の集大成ともいえよう。

美しい生態写真の口絵とともに、巻頭の総説として、成虫の産卵習性、幼虫の食性及び成虫の食性が新しい研究の成果を盛り込んでまとめられており、大変参考になり、かつ示唆に富んでいる。以下に食樹総覧、成虫の食性、食樹別カミキリムシ目録、引用文献、索引と続き、索引はカミキリムシの学名・和名、植物の学名・和名別にまとめられ、読者に非常に親切な配慮が払われている。天牛のみならず日本の自然・植物・昆虫を愛好する人々にとっても必要な参考書として、是非多くの人々によって愛読され、活用されることを希望して止まない。

(林 匡 夫)

新入会員



復活



住所変更



昭和61年度 収支決算書

自 昭和61年 1月 1日

至 昭和61年12月31日

収 入 の 部		支 出 の 部	
会 費	1,330,500 ^円	印 刷 費	1,677,900 ^円
バックナンバー代	132,200	通 信 費	200,370
別 刷 代	70,950	消 耗 品 費	860
寄 付 金	5,000	大 会 費	13,300
雑 収 入	24,224	幹 事 会 費	16,380
仮 受 金	300,000	雑 費	11,600
前 期 繰 越 金	66,370	仮 受 金 引 当 金	300,000
次 期 繰 越 不 足 金	291,166		
計	2,220,410	計	2,220,410

特別会計収支計算書

(会報発行基金)

昭和61年	1. 1	前 期 繰 越 金	1,120,594 ^円
	1.20	40万円貸付信託収益金(60. 7.20~61. 1.19)	8,606
	3.26	金 銭 信 託 収 益 金(60. 9.26~61. 3.25)	7,928
	5.20	40万円貸付信託収益金(60.11.20~61. 5.19)	7,956
	7.20	40万円貸付信託収益金(61. 1.20~61. 7.19)	8,216
	9.26	金 銭 信 託 収 益 金(61. 3.26~61. 9.25)	8,113
	11.20	40万円貸付信託収益金(61. 5.20~61.11.19)	7,176
	12.31	次 期 繰 越 金	1,168,589 ^円

「昆虫学評論」のバックナンバー代について

当会のバックナンバーの価格は下記のとおりで、現在では第7巻以降は全冊が揃いますから、この機会にご購入下さるようお願いいたします。

第1巻第1号、第2号および第4巻第2号（残11部）	全部で	300円
第7～10巻	各巻はそれぞれ1,000円	4,000円
第11～15巻	1,500円	7,500円
第16～20巻	1,500円	7,500円
第21～25巻	2,000円	10,000円
第26～30巻	2,500円	12,500円
（ただし、第30巻のみ購入の場合は3,000円）		
第31～35巻	3,000円	15,000円
第36～38巻	4,000円	12,000円
第39～40巻	5,000円	10,000円
第41巻		5,000円

総目録：第1～10巻、第11～15巻、第16～20巻、第21～25巻、第26～30巻、第31～35巻、第36～40巻をそれぞれまとめて購入される場合は、それに該当する総目録は無料で差しあげます。ただし、当該総目録のみ希望の場合はそれぞれ200円、全部で1,400円です。

送料は当会々員に限りすべて無料（学会で負担）です。